

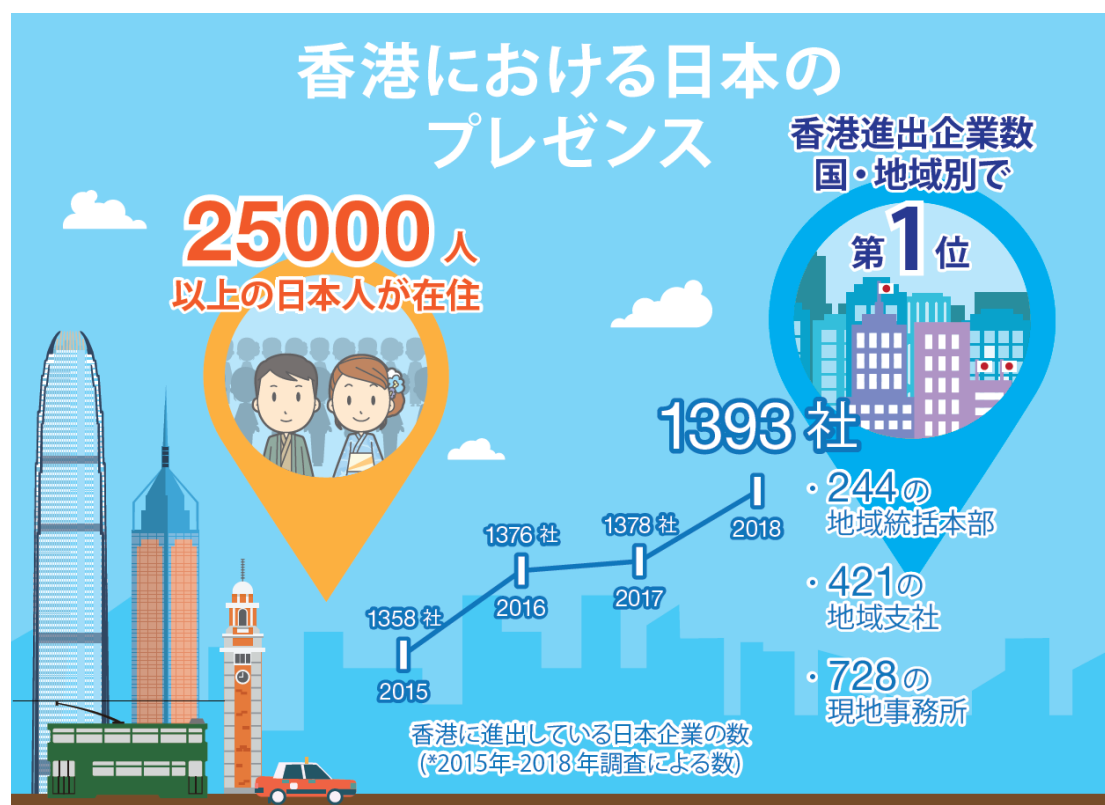
香港と日本：深まる絆

香港は10月29日から11月11日まで東京で「香港ウィーク」を開催し、さまざまなイベントを通じて、日本とのつながりを一層深めていきます。

「香港ウィーク」では、香港の優れたビジネス環境をはじめ、観光の魅力やクリエイティビティ、多様性や文化にスポットライトを当てる多彩なイベントが開かれます。

中でも、香港貿易発展局が主催する大規模ビジネスシンポジウム「Think Global, Think Hong Kong（国際化へのパートナー：香港）」は「香港ウィーク」の核となるイベントで、日本の企業家が香港の政府高官やビジネスリーダーと接し、交流を深めて新たなチャンスを探る貴重な機会を提供します。

日本の企業家や投資家にとっては特に、アジアの世界都市である香港の最新動向をもっと知る機会となります。また、世界一自由な経済、中国への一大ゲートウェイ、そしてビジネス、金融サービス、技術革新・科学技術、海運・物流、法律などの専門サービスの地域ハブとしての香港独自の優位性を、最大限に活用する方法を探ることもできます。



緊密な経済関係

アジア有数のビジネス・金融拠点である香港と日本は、強力な貿易関係を築いています。

昨年、香港と日本の商品貿易は前年の468億米ドルから5.1%増加し、490億米ドルに達しました。2017年において、日本は香港にとって4番目に大きな貿易相手であり、域内産品輸出先としては11番目に大きな市場でした。一方、香港は日本にとって世界8位の貿易相手となっています。

香港の優れた立地、中国本土との比類ないつながり、ビジネスのしやすい環境、低率でシンプルな税制、法の支配は、企業にとって魅力的な要素です。

現在、香港域外に親会社を有する企業8,754社が香港で事業を営んでいます。そのうち1,393社は日本企業であり、香港に進出している域外資本企業の数回国・地域別に見ると日本が最多となっています。

香港は日本にとって第5位の輸出先です。これは、香港の貿易・物流ハブとしての地位と、携帯電話や電子ガジェットから家電、食品、ファッションまで、あらゆる高品質な日本製品に対する香港の高い需要を反映するものです。

香港は過去10年以上にわたり、日本の農林水産物の最大の輸出先であり続けています。昨年、同分野での香港への輸出額は前年比1.3%増の1,877億円に上っており、日本の農林水産物輸出総額の4分の1近くを占めています。

企業家精神を共有する香港と日本は、中国の壮大な「一帯一路」構想から生まれるチャンスをつかむため、互いにとっての信頼できるパートナーとなり得ます。香港は促進者として、またファシリテーターとして、「一帯一路」において極めて重要な役割を果たすこととなります。

2017年香港－日本間の商品貿易

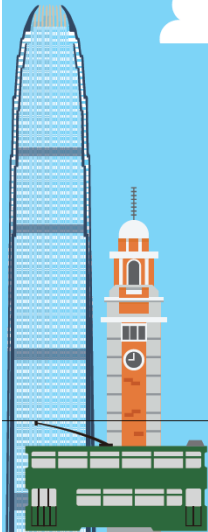
490億

米ドル



前年比

↑ 5.1%



香港

日本の
貿易相手として

第8位

日本

香港の
貿易相手として

第4位



香港：日本にとって第5位の輸出市場

過去10年間以上

日本の農林水産物の

世界最大の輸出市場



金額にして

約1877
億円

(2017年)



質の高いライフスタイル

アジアの世界都市・香港にあるのは、ビジネスチャンスだけではありません。香港は住む場所としても素晴らしく、世界中から集まる企業、人材、学生、食べ物や祭りが、香港をコスモポリタンな街にしています。このクリエイティブ、ダイナミックで安全な都市では、イノベーションや芸術、文化が花開いています。

香港では、2万5,000人を超える日本人が暮らしています。

香港にはアジア最多のインターナショナルスクールがあり、その中には50年を超える歴史を持つ香港日本人学校も含まれます。

壮大な自然公園に趣のある離島、また世界遺産のジオパークを訪れば、せわしない都市生活から離れてひと時の休息をとることができます。

香港では世界クラスの文化、スポーツ、レジャーイベントや、魅力あるローカルな祭りが年間を通して開催されており、世界中のあらゆる料理が楽しめます。東洋と西洋が会うユニークな街、アジアの世界都市・香港には、この街で暮らす人も旅行者も選ぶのに迷ってしまうほど多くの楽しみがあります。

